

京都芸術センターCo-program 2026 採択企画

歴史とジェンダーを読み解くダンス作品、早川葉南子『遊戯―演習 2―』上演

【日程】2026 年 8 月 29 日（土）、30 日（日） 【会場】京都芸術センター

京都芸術センター（京都市中京区）は、Co-program 2026 採択企画として、振付家・ダンサーの早川葉南子による新作ダンス公演『遊戯―演習 2―』を 2026 年 8 月 29 日（土）・30 日（日）に上演します。本作は、20 世紀初頭の少女教育舞踊を手がかりに、「見られる身体」とその主体性を問い直す作品です。社会や制度に刻まれたジェンダー規範やまなざしを、現代のダンサーたちの身体を通して批評的に読み解きます。



© Lisa Strozyk

共同制作を通して探る「見られる身体」の主体性

Co-program（コープログラム）は、京都芸術センターがアーティストや芸術団体と対等なパートナーとして企画を育て、実現する共同事業プログラムです。Co-program 2026 採択企画として上演される早川葉南子『遊戯―演習 2―』は、「見られる身体」とその主体性をテーマに、社会や他者のまなざし、歴史や制度によって形づくられる身体のあり方を問い直すダンス作品です。リサーチの出発点となったのは、20 世紀初頭に少女たちの教育舞踊を紹介した雑誌『遊戯と唱歌』。そこに含まれていた西洋モダンダンス、日本の帝国主義、ジェンダー規範など複数の価値観を、現代のダンサーたちの身体を通して再解釈します。出演・コラボレーションに上田愛華、Kidows Kim、余越保子、サウンドデザインに小松千倫、Dove が参加。京都、ベルリン、パリ、ニューヨークなど異なる文化的背景をもつアーティストと協働し、身体に刻まれた社会的規範や役割を批評的に読み解きながら、既存の枠組みに回収されない「制御不能な身体」の可能性を探ります。

概要

タイトル： Co-program2026 早川葉南子『遊戯一演習 2ー』

日 時： 2026 年 8 月 29 日（土） 20:30 開演（20:00 開場）

2026 年 8 月 30 日（日） 20:00 開演（19:30 開場）

※各回 60 分公演

会 場： 京都芸術センター 講堂（南館 2 階）

料 金： 前売：一般 2,500 円、U30 2,000 円

※全席自由席

※前売券は各回前日の 18:00 まで受付

※当日券は各 500 円増し

主 催：早川葉南子、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）京都芸術センター Co-program2026 カテゴリーA 採択事業

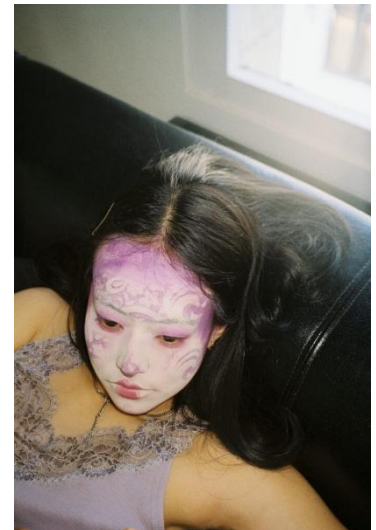
WEB ページ： <https://www.kac.or.jp/events/2026082930/>

プロフィール

早川葉南子

ダンサー・振付家

現在、ベルリン、ブリュッセルを拠点に活動するダンスメーカー。多摩美術大学にて勅使川原三郎の指導を受ける。ブリュッセルの P.A.R.T.S. トレーニングサイクル（3 年間のコンテンポラリーダンス教育プログラム）を修了。Tino Sehgal, Michiel Vandevelde, イケダレイコ, Benjamin Abel Meirhaeghe, Miet Warlop, Emmilou Rößling, Simon Van Schuylenbergh, 敷地理, 梅田哲也など、ヨーロッパ、アジアを中心に活躍する国際的なアーティストと共演。ダンサー、パフォーマー、メディエーターとしての様々な経験を元に、自らのダンスプラクティスを展開している。



クレジット

クリエーション：早川葉南子

出演・コラボレーション：上田愛華、Kidows Kim、余越保子

舞台監督：大澤一太

サウンドデザイン：小松千倫、Dove

照明：村上美樹

舞台美術：早川葉南子

衣裳デザイン：Lee Chang Hyun、早川葉南子

リサーチ協力：荒木ちひろ、Leah Marojević、John Shades、島岡優里、Andrea Rodrigo、bela

テクニカルコーディネート：十河陽平（京都芸術センター）

制作：西田祥子、原田直子（以上、京都芸術センター）、柴田聡子

宣伝美術：高坂彩乃

スチル：Lisa Strozyk

リサーチ助成：Radialsystem Berlin "Body Time Space", Life Long Burning

特別協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

Co-program（コープログラム）について

Co-program（コープログラム）は、京都芸術センターが 2017 年度から実施する共同事業プログラムです。伝統芸能から現代美術まで、多様な芸術分野が交わることで生まれる新たな表現や価値の創造を目指し、アーティストや芸術団体と京都芸術センターが対等なパートナーとして企画を育て、実現しています。本プログラムでは、採択された企画に対して資金や会場を提供するだけでなく、企画立案から制作、広報、発表までを京都芸術センターと申請者が共同で進めます。公演を対象とする「共同制作」、展覧会を対象とする「共同開催」、リサーチやレクチャー、ワークショップなどを対象とする「共同実験」の3つのカテゴリーを設け、挑戦的な芸術活動を継続的に支えています。

2017 年度の開始以来、演劇、ダンス、音楽、美術、伝統芸能など幅広い分野で約 70 件のプロジェクトを採択。やなぎみわ、ホンマタカシ×コンタクトゴンゾ、岡崎藝術座、スペースノットブランク、額田大志×山下恵実をはじめ、新たな表現に挑戦するアーティストとの協働を重ね、京都から国内外へ向けた創造的な活動を発信しています。

WEB ページ：<https://www.kac.or.jp/program/34630/>

京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に 2000 年 4 月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進に取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、演劇、ダンス、音楽、伝統芸能などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。



京都芸術センター外観 ©高野友実

<本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL：075-213-1000、E-mail：pr@kac.or.jp、担当：福島